

令和7年度東京都立第五商業高等学校経営計画（全日制課程）

Ⅰ 目指す学校像…『国立に五商あり 人づくり夢づくりの商業高校（まなびや）』

- (1) 教育目標

本校の教育目標を「社会を支える一員であることの自覚のもとに、望ましい勤労観・職業観を養い、情操豊かで創造性に富む人間の育成」とし、次のような学校を目指していく。

①知性と感性に富む創造力豊かな人間を育てる。

②明朗にしてたくましい心豊かな人間を育てる。

③平和を愛し、国際社会に貢献できる人間を育てる。
- (2) スクール・ミッション

「社会を支える一員である自覚のもと、望ましい職業観を養い、情操豊かで創造性に富む人材の育成」を教育目標とし、資格取得にとどまらず、確かな教養を身に付け、将来起こる様々な課題に自主的に取り組み、挑戦していく人材を育成します。

2 中期的目標と方策（3年後から5年後の第五商業）…「資格取得と探究的な学びとデジタルの活用でSociety5.0時代に活躍する人材の育成」

- 人づくり…社会を支える一員である自覚のもと、望ましい職業観を養い、情操豊かで創造性に富む人材の育成
- 夢づくり…資格取得にとどまらず、確かな教養を身に付け、将来起こる様々な課題に自主的に取り組み、挑戦していく人材の育成。
- 加えてA I等デジタル技術を活用できるデジタル人材の育成。
- (1) 学習指導 …D Xの活用による高度資格取得と探究的な学びの実現

(2) 進路指導 …高度資格を生かした年内入試と伝統ある就職指導による進路実現

(3) 生活指導 …ビジネス教育による五商ブランドの基礎となる社会性の醸成

(4) 特別活動 …生徒主体の学校行事や部活動と地域連携による地域貢献
- (5) 健康づくり…安心・安全な学校生活と体力向上による心身の健康づくり

(6) 募集活動 …全教職員による広報活動による五商の魅力の地域社会への浸透

(7) 学校経営 …人づくり夢づくりの商業高校（まなびや）の実現

3 今年度の取組目標と方策

(1) 学習指導（生徒と教員とによる授業の創造と資格取得の推進）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①学力の向上	①-1 学習指導要領に則した年間授業計画と年間評価計画に基づいた授業を行う。 ①-2 基礎学力の向上に取り組むとともに、「考えさせる授業」を行う。 ①-3 「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適化と協働的な学び」を実現する授業を行う。 ①-4 学習課題などを工夫し、家庭学習の推進など自学自習の定着の指導を行う。	予習・復習して授業に臨んだ 50%以上 資格指導の指導体制が充実 80%以上 家庭学習1時間以上 20%以上 国語・数学・英語の学力定点観測 年2回
②指導力の向上	②-1 授業のDXを進めるとともに、生徒のスマスク端末を活用した授業を行う。 ②-2 観点別学習状況の評価に基づく指導と評価の一体化により授業改善を行う。 ②-3 授業公開や研究授業、その他の機会を捉え、教員の相互授業参観を行う。 ②-4 ICT機器や統合型学習支援サービス、定期考査採点・分析システムを活用する。 ②-5 「令和の日本型教育」を進めるために必要なファシリテーション等の研修をする。	授業での利用 授業ごとに1回以上 学習評価の研修 学期に1回 教員相互授業参観 1人3回以上 校内授業力向上研修 学期に1回
③資格取得の推進	③-1 高度資格取得に向け、当該教科が組織的、計画的に指導の強化に努める。 ③-2 年度当初の目標設定や合格者の発表などモチベーションの維持に努める。 ③-3 ビジネス人材活用事業や高大連携等を活用して生徒の力を一層引き出すことに努める。 ③-4 高度資格取得指導の校内外の研修会に積極的に参加するなど指導力の向上に努める。	高度資格取得 日商簿記検定 2級 50名 ITパスポート 10名 全商英語検定Ⅰ級 10名 卒業生三冠以上 30名以上
④探究的な学びの推進	④-1 授業や特別活動において適宜探究的な学びの機会を設ける。 ④-2 ビジネスアイデアや課題研究を中心に企業や地域、大学等外部機関との連携を促進する。 ④-3 探究的な学びの成果を発表する機会を積極的に設ける。	全教科・科目での導入 外部連携機関 10箇所 外部コンテストへの参加 3回
⑤図書館の利活用の推進	⑤-1 図書館運営委員会や図書委員会による読書活動の推進により読書率の向上を図る。 ⑤-2 資格取得や探究学習、進路活動などに必要な情報センターとして整備し利活用する。 ⑤-3 授業に活用できる蔵書の充実を図り、授業での利活用を促進する。	各教科の図書館利活用 各学期1回以上 ※昨年度の授業での利用 132回

(2) 進路指導（キャリア教育の充実と進路実績の向上）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①キャリア教育の充実	①-1 キャリア教育の全体計画に基づき、生徒の進路実現に向けて全教員で進路指導を行う。 ①-2 進路ノートを活用し3年間の計画的な進路指導を行う。 ①-3 進路実現と進路先での活躍のため、3年間を見通した基礎学力向上と言語活動の充実を図る。	就職希望達成率 100% インターンシップ参加 1年生全員 オープンキャンパス参加 2年生全員
②連携と情報の共有	②-1 進路指導部と各学年担任との連携 ②-2 学校と地域との連携 ②-3 企業や地域等と連携し、進路指導に関わる体験学習や各種セミナーを実施する。	外部講師の小論文指導 18回 外部講師による講演会 10回
③進学指導の推進	③-1 四年制大学への年内入試を中心とした進学指導について全教員で研究を行う。 ③-2 外部模試等により学力を把握するとともに、事前・事後指導により生徒の意識向上を図る。 ③-3 年内入試対応のため、進学先や入試形態など最新情報の入手に努める。	外部模試等による学力の定点観測 教員のオープンキャンパス参加 進学情報交換会の実施
④確かな就職指導の推進	④-1 就職を希望する生徒への早期の学力試験や面接などの試験対策を充実させる。 ④-2 早期離職対策のため、良いマッチングを目的とした面談や外部検査等を充実させる。	全教員による面接指導 進路のための三者面談の実施

(3) 生活指導（基本的生活習慣の確立と規範意識の向上）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①生活指導の徹底	①-1 ビジネスに学ぶ生徒としてあいさつと身だしなみの徹底を図る。 ①-2 落ち着いた学校生活とすべく基本的な生活習慣の確立と授業規律の順守を徹底する。 ①-3 ビジネスマナーを基礎としたコミュニケーション力の向上を図る。	校門指導（担任以外） 毎日（輪番） 学習環境の整備 毎授業開始 礼と身だしなみ確認 毎授業開始終了
②生命・人権尊重教育の推進	②-1 授業や特別活動を通して自己肯定感を高め、生命尊重と思いやりの心を育む指導をする。 ②-2 防災訓練等による防災意識の醸成とともに、セーフティ教室等により安全意識を養う。	セーフティ教室等実施回数 4回以上 問題行動・自転車事故 0件
③美化意識の向上	③-1 校内の環境整備に努め、落ち着きと緊張感ある学習環境を構築する。 ③-2 清掃活動を徹底し、自ら学ぶ場所を整えることで主体的に学び姿勢と美化意識の向上を図る。	SCによる講演会 年1回 SOSの出し方教室 年1回

（４）特別活動・部活動（学校行事や生徒会活動によるリーダー養成）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①魅力ある学校行事	①-1 生徒が主体的・意欲的に参加する魅力ある学校行事等となるよう工夫・改善に努める。	生徒の学校行事満足度 90％以上
②部活動の活性化	①-2 生徒会、委員会の意義と活動計画、役割を明確にするとともに、リーダーの養成に力を入れる。 ②-1 部活動への加入の奨励し、各種競技会への参加と上位入賞を目指す。 ②-2 顧問同士連携や部活動指導員等の活用により生徒の育成を図るとともに、働き方改革に努める。	部活動活動計画の提出 学期ごと 部活動加入率 90％以上 部活動指導員等活用 17名
③国際理解教育とボランティア精神の育成	③-1 生徒の海外派遣事業等を活用し、国際理解とグローバル社会で活躍できる資質・能力を育成する。	T G G参加、英語スピーチコンテスト、
④主権者教育の推進	③-2 ボランティア活動や地域清掃活動等とおして、ボランティア精神を育成する。 ④-1 主権者教育により社会の一員としての自覚を促すとともに、社会的な問題への判断力を高める。 ④-2 学校行事や生徒会活動等とおして、自治活動を推進しリーダーを育成する。	E B P C参加 奉仕体験活動等参加 延べ600人以上

（５）健康づくり（心身の健康づくりと体力の向上）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①心の教育の推進	①-1 美化・保健・健康活動を推進し、環境づくりに主体的に取り組む生徒を育成する。 ①-2 教育相談の充実と関係者間の連携を強化し、生徒の心のケアを早期に行う体制を確立する。 ①-3 全教員が特別支援教育を理解し、組織的に生徒個々に適した指導を行う。	特別支援教育研修会 2回 特別支援委員会 10回
②体力向上の推進	②-1 体育活動を通じて補強運動を行うなど基礎体力向上を図り、事故防止と健康増進に努める。 ②-2 体力テスト等を活用し、生徒の体力全般の向上を推進する。	体力テスト 全員
③保健・健康教育の推進	③-1 学校保健計画を基盤に、養護教諭や関係機関と連携し、生徒の健康づくりを促進する。 ③-2 食育や健康管理の全体計画を作成し、組織的な指導体制で実施、生徒委員会活動を活性化する。 ③-3 生徒が自ら健康を意識し、疾病予防や健康管理に努める態度を育成する。	学校医（産婦人科医等）講演会 1回
④教職員の健康維持管理とライフ・ワーク・バランスの推進	④-1 心理的安全性の確保に努めるとともに、定期健康診断の受診など教職員の健康管理を支援する。 ④-2 週1日の定時退庁を推奨と超過勤務時間の削減と、業務軽減に向けた工夫・改善を行う。 ④-3 定期考査採点・分析システムを活用し、採点業務の負担軽減を図る。	教職員定期健康診断受診 全員 週1度定時退庁設定 全員 定期考査採点・分析システム利活用 全員

（６）募集・広報活動（地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①募集・広報活動の充実	①-1 目的意識の高い生徒を迎えられるよう全教員による積極的な広報活動に取り組む。 ①-2 生徒会や部活動の生徒が積極的に関わる機会を設け、本校の魅力を直接伝える活動を推進する。	学校見学会・学校説明会 13回 教員の中学校訪問 100校以上
②学校情報の発信	②-1 C l a s s iやホームページを活用し、行事後の情報発信を徹底する。 ②-2 保護者会や三者面談を通じ、家庭との情報交換を緊密にする。 ②-3 公開講座を実施し、特色ある教育活動を地域に広め、学校広報を強化する。	ホームページ更新回数 300回 応募倍率 推薦入試 2倍以上 一般入試 1.3倍以上
③開かれた学校の推進	③-1 ボランティア活動や地域清掃活動を通じて地域連携を深め、地域貢献に努める。 ③-2 「五商ショップ」の運営やインターンシップによる地域との交流を推進する。	五商ショップ開催 1回以上

（７） 学校運営・組織体制（経営参画の推進、DXと働き方改革の推進）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①学校運営の組織力を強化した	①-1 学校経営への積極的な参画を促進し、課題解決を推進する。 ①-2 各主任がリーダーシップを発揮し、効率的な業務運営と連携強化に努める。 ①-3 地域の商工会や社会福祉協議会等と連携し、地域密着型のビジネス教育を推進する。 ①-4 経営企画室の経営参画を一層推進し、課題解決に向けた学校運営の中核としての役割を果たす。	学校評価アンケート回収率 生徒95％以上、保護者95％以上、 地域住民20％以上、教職員100％
②校内DXと働き方改革の推進	②-1 組織的にDXを進め、校務の効率化と教育内容の充実を図る。 ②-2 超過勤務の把握、環境整備、健康管理に取り組むとともに、DXなど働き方改革を推進する。	生徒の学校満足度 80％以上 超過勤務月45時間以上 延べ 80名 服務事故 0件
③喫緊の課題への対応	③-1 教育課程の点検と見直し。 ③-2 「令和の日本型教育」への対応など教授方法の点検と見直し。 ③-3 観点別学習状況の評価の点検と見直し。 ③-4 生活指導の点検と見直し。 ③-5 進路指導の点検と見直し。 ③-6 年内入試対応の点検と見直し。 ③-7 特別支援教育の点検と見直し。 ③-8 学校広報活動の点検と見直し。 ③-9 職場環境など働き方の点検と見直し。	※「③喫緊の課題への対応」については、 今年度の12月末を目途に、各分掌や 教科において、「生徒第一」と「働き方 改革」の視点からスクラップ・アンド・ ビルドを徹底し、効率化を図りながら、 第五商業としての教育活動の充実のため 点検と見直しを行う。

以 上